

かけはし

【 重点教育目標 】

「自分の考えをもち、適切に
伝えることができる生徒の育成」

第 4 号

令和 6 年 7 月 5 日 (金)

感動を呼ぶ姿

校長 池田 浩司

6月8日(土)の陸上大会を皮切りに、函館市中学校体育大会(いわゆる中体連)が始まりました。その後、19日(水)の水泳大会と続きました。また、吹奏楽部は23日(日)の「吹奏楽祭」お疲れ様でした。楽しく観ることができました。

この学校だよりを書いているのは6月28日(金)です。6月30日(日)には、体操・野球(野球の試合は本校は7月1日から)、7月に入り、剣道・バドミントン・サッカー・ハンドボール(男女)・バレーボール(男女)・男女バスケットボール・卓球と、「中体連総合競技大会」がスタートします。

◆一人一人の全力の姿が人の心を動かす

桔梗中ホームページ(<https://hakodate-kikyoihs.edumap.jp/>)にも書きましたが、人の心を動かすのは、生徒たち一人一人の全力の姿です。決して、優れた技量や質の高いパフォーマンスだけではありません。途中で手を抜かず、最後まで全力で、一人一人の生徒が自分の持てる力を精一杯に発揮するとき、観ている人の心を動かし、感動するのです。また、よく「緊張し過ぎて実力を発揮できなかった」という声がありますが、「適度の緊張は人間一番力を発揮できる」と聞いたことがあります。緊張し過ぎてダメ、緊張を全くしないのもダメということですね。

団体競技で「チームワーク」というと、全体の視点から語られることが多いですが、チームワークとは「一人一人が自分の役割をきちんと果たすこと」で成り立ちます。また、「練習でできないことは試合ではできない」と言われます。これは、いかに本番を想定して練習するかどうかで、本番で力を発揮できるかにつながるという、練習時の心の持ち方のことです。そういう意味では、避難訓練などもそのために実施していると言えます。

自分が部活動の顧問をしていた時、そんなことを考えたり、生徒に話したりしていたことを思い出しながら、日曜日から応援にまわりたいと思います。各部活動の試合時間が重なり、全試合を応援できないかもしれません。その時は許してください。

この学校だよりが発行される時には、函館市の中体連は終わっています。管内大会に出場し、全道大会出場の権利を勝ち取ることも、もちろん結果としてうれしいですが、生徒たちが全力で実力を発揮できることを願っています。

◆家庭と学校が手を取り合って

一般的に、学校の6月は、1学期の中でも課題が出てくる時期と言われていますが、本校ももれなくいくつかありました。生徒たち自身と話をしたり、保護者の方と相談したり、その都度対応しています。中学生は多感な時期ですので、なかなか一瞬で解決とはなりません。家庭と学校が同じ方向に向かって、生徒たちと接していけたらと思っています。「子どもにこういう力を付けたい」「子どもに今より少しでも良くなってほしい」など、保護者の方には適わないと思いますが、子どもたちに対する愛情は、学校も同じ気持ちでいます。

夏休みまであと1か月。7月は、家庭と学校がさらに手を取り合って、一緒に子どもたちを見守り、笑顔を増やしていけたらと切に願います。今まで同様、心強いご支援・ご協力をどうかよろしくお願いいたします。